

鹿屋市

特攻隊の記憶から学ぶ 命の重み

鹿屋航空基地史料館



太平洋戦争

日本は1930年代から戦争への道を進み、1941年に太平洋戦争が始まりました。戦争が長引く中で多くの人命が失われ、戦況が悪化した1944年以降、特攻作戦が本格化し、多くの若者が出撃しました。その後、1945年8月に終戦となりました。

特攻隊

特攻隊とは、戦争末期に編成された部隊で、爆弾を積んだ飛行機などで敵艦に体当たり攻撃を行いました。若い兵士たちは国や家族を守るという命令のもと、帰還できない任務に向かいました。特攻隊の存在は、戦争が人にどれほど過酷な選択を強いたかを今に伝えています。



鹿屋航空基地史料館

鹿屋航空基地史料館は、第二次世界大戦中に日本最大級の海軍航空基地が置かれていた鹿屋の歴史を伝える施設です。当時使用された実物の航空機や資料、写真、映像などを通じて、戦争の史実や実態、航空隊員の生活などを学ぶことができる場所です。



鹿屋航空基地史料館

TEL 0994-42-0233 〒893-0064 鹿児島県鹿屋市西原3丁目11-2

鹿屋市

タビマエ



特攻隊の歴史から学ぶ 命の重み
鹿屋航空基地史料館

問い① 第二次世界大戦中の鹿屋航空基地はどのような役割を果たしていたのでしょうか？

問い② なぜ現在も戦争や特攻について学ぶ必要があるのでしょうか？
あなたの考えを記入してみましょう。

問い③ 当時の人々の思いを想像してみましょう。
また、あなたにとっての「平和」とはどのような状態でしょうか？

問い④ 戦争の記憶を後世に伝える史料館は、
社会においてどのような役割を果たすか考えてみましょう。

鹿屋市

タビナカ



特攻隊の歴史から学ぶ 命の重み
鹿屋航空基地史料館

1 展示されている資料等を見て、感じたこと、考えたこと

2 平和のためにあなたができること

鹿屋市

クビアト



特攻隊の歴史から学ぶ 命の重み

鹿屋航空基地史料館

- 1 今回の学びを通して、旅マエに書いた『平和の定義』はどのように変わりましたか？
変わった点／変わらなかった点の両方を書いてみましょう。

- 2 『自分にとっての平和』を守るために、
明日から自分ができる小さな行動を1つ決めてみましょう。

- 3 もし、このプログラムを受けていない友人に、“鹿屋航空基地史料館での学び”を一言で
伝えるとしたら、何と伝えますか？